

1 先端注意。

《接着の仕方》
図をよく見てパーツを組み合わせ、合わせ目に
タミヤセメント(流し込みタイプ接着剤)を
流し込んで接着してください。
接着剤を付けすぎると、
思わぬところまで
流れ込んでしまうので、
少しずつ流し込むように
しましょう。

機体の色は
塗装図を見てね

■中の数字は GSI クレオス
Mr. カラーの番号です。

2 《カウリング》

《エンジン》
キャブケース: 11 ガルグレー Gull Gray
パイプ・ロッド: シルバー Silver
シリンダー: 8 黒鉄色 Iron Black

カウリング(内側も)・フラップ: 92 セミグロスブラック Semigloss Black

排気管: 61 焼鉄色 Burnt Iron

接着しません。(回転します)

プロペラ: 8 シルバー Silver (裏面: 131 赤褐色 Brown)

《増槽》 19 シルバー Silver

細かい組み立てにはピンセットを使いましょう。
部品をなくさないように注意してください。

3 増槽はお好みで
取り付けてね。

《増槽》

タンク取付梁: 92 セミグロスブラック Semigloss Black

着陸フック: 92 セミグロスブラック Semigloss Black

※22(透明)

折らないように
注意してください。

① 尾輪タイヤ: 137 タイアブラック Tire Black
② (支柱): 8 シルバー Silver

タイヤ: 137 タイアブラック Tire Black
(ホイール): 8 シルバー Silver

ゲートの切り取りに
注意してください。

《増槽》水平に取り付けます。

※《着陸フック》
未装着の機体もあります。
塗装図を参照ください。

4 《カウリング》

照準機: 92 セミグロスブラック Semigloss Black

20 《アンテナ支柱》
※塗装図参照

24(透明)

未装着の機体もあります。
未装着の機種をつくる
場合はアンテナを接着し
固まったら根元でカット
します。

先端: 2 ブラック Black

接着剤は少なめに。

《デカールについて》
デカールをきれいに貼るには、デカ
ール軟化剤(Mr. マークソフターや
マークセッター: GSI クレオス)を
使うと良いでしょう。

《SWEET からのお願い》
不良・不足部品などありましたら
当社アフターサービス係までご連絡ください。

〒421-1131
静岡県藤枝市岡部町内谷 1633-12
SWEET アフターサービス係
Tel & Fax 054-667-1323
E-mail nasa@yj8.so-net.ne.jp

ホームページ:
www.sweet144model.com

イラスト
原田 幸久

機体の色は 塗装図を見てね!
See the color leaflet for camouflage painting.

ITEM 14144 九六艦戦(空戦訓練特別塗装) Type96 Carrier Fighter (A5M4) Special Paint

青色 Blue
DECAL A
DECAL C
R1
青色 Blue
DECAL
赤色 Red
L1
DECAL C
DECAL A
赤色 Red
Tail Light 白色 White
3-186
尾輪 白色 White
青色 Blue
銀色 Silver
A
R4
L4
DECAL F (左・右とも)
A
赤色 Red
プロペラ
脚柱正面図
黒色 Black
銀色 Silver
210ℓ落下タンク

横須賀航空隊 3-186 大石英男二空曹機 昭和14年12月 横須賀航空隊基地
赤城戦闘機隊との演習終了後特別塗装の機体が横空にて使用されていた。
YOKOSUKA Flying Group 3-186 Flown by Hideo Oishi Dec. 1939 YOKOSUKA AB.

青色 Blue
A
C
R2
青色 Blue
Decal
赤色 Red
L2
C
A
赤色 Red
Tail Light 白色 White
H
B
G
Silver 銀色
M
P
Tail Light 白色 White
青色 Blue
A
R5
L5
A
赤色 Red

赤城(あかぎ)戦闘機隊 久保一男一飛曹機 昭和14年10月 横須賀航空隊基地
空戦訓練中に工藤機と久保機が空中接触事故を起こしたか双方無事に生還した。
AKAGI Fighter Group Flown by Kazuo Kubo October 1939 YOKOSUKA AB.

青色 Blue
DECAL A
DECAL C
R3
青色 Blue
DECAL
赤色 Red
L3
DECAL C
DECAL A
赤色 Red
Tail Light 白色 White
H
B
G
Silver 銀色
N
主脚柱 黒色
W102
尾輪 白色 White
青色 Blue
A
R6
L6
A
赤色 Red
黒色 Black
ガイアカラー No.022
セミグロスブラック
銀色 Silver
ガイアカラー No.009
ブライトシルバー
赤色 Red
ガイアカラー No.003
ブライトレッド

空母・蒼龍(そうりゅう)戦闘機隊 W-102 羽切松雄一曹機 昭和14年夏 日本本土
SORYU Fighter Group W-102 Flown by Matsuo Hakiri Summer 1939 Japan

W101
W101
※機体の塗装塗り分けとデカールの貼り付け指示はW-102と同じです。

空母・蒼龍(そうりゅう)戦闘機隊 W-101 分隊長 横山 保大尉機
昭和14年夏 日本本土 Summer 1939 Japan
SORYU Fighter Group W-101 Flown by Lt. Tamotsu yokoyama

【空戦訓練・戦技演習時に於ける特別塗装】
空母の飛行機隊は戦術、戦術の研究と訓練を行い成果を毎年度の演習で確認しました。
昭和14年度は編隊群戦術をテーマとした空戦演習が行われ、赤城戦闘機隊は10月から2か月間、
横須賀航空隊も交えた戦術訓練を重ねて空戦演習を行いました。編隊空戦では敵味方の識別を容易
にする為の色鮮やかな特別塗装が施されました。赤城戦闘機隊では胴体を紅白に塗り分けた機体が
確認されています。蒼龍戦闘機隊では胴体を白と黒に塗り分けた羽切機が有名です。羽切機の記録
写真には他にも同様な機体塗装が見られる事から「蒼龍の三羽鳥」と称された横山保大尉(W-101)
大石英男二空曹(W-103)も同様な塗装と仮定してみました。
※主翼の帯や胴体の帯は長めに作られています。余分は切り取っ下さい。
(細部の塗装は組立て説明書を参照下さい。)

【搭乗員の消息】
「蒼龍三羽鳥」の3名は横空から中国・漢口の12空へ12試艦上戦闘機(のちの零戦)と共に進出。
12空の零戦隊は昭和15年9月13日重慶上空の空戦にて敵機撃墜27機で華々しいデビュー戦を
飾る。横山分隊の羽切、大石は10月4日に成都・太平寺敵飛行場に強行着陸して敵機に放火する難
れ技を演じて名を馳せた。その後横山保大尉は16年8月、第3航空隊の飛行隊長となる。横空の演
習にて空中接触事故を起こし破損機を無事着陸させた技量優秀な久保一男飛曹長と工藤修飛曹長
は横空から三空へと移る。両名は太平洋戦争開戦勢頭、台湾・高雄基地からフィリピン米軍基地への
空襲零戦隊で小隊長として活躍する。

SWEET
AVIATION MODEL DIV.
© SWEET 2020